

平成30年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人
ワーカーズ・コレクティブ
ケアびーくる

1 事業の成果

1) 単独では移動が困難な市民が生活の質を高められるよう、市民が持つリソースを発揮して「新しい公共」の一翼を担いました。

参加型福祉の実現と地域に不可欠なサービスの存続を図るため、参加者の拡大に努めました。

2018年5月にケアびーくるの設立20周年を迎えました。今年度も引き続き利用者のニーズにできる限り応え、年末年始も休むことなく介助付き移動サービスの活動を行いました。

16年目を迎えたセレナの代替として、日本財団の福祉車両助成事業に応募し、負担可能な自己資金で新しい福祉車両を取得することができました。

- 依頼にはできる限り応え、当日依頼にも可能な限り対応しました。通院はもとより、買物やリフレッシュ、お花見やお墓参りなど、今年も多くの利用に応えることができました。
- 独居や高齢者のみの世帯など、支援が厚く必要な利用者が増えています。ケアマネや在宅支援センターなどとの連絡を密にとり、遠方の家族にも報告をするなど、調整しながらサービスを進めました。
- 2名の新たな運転会員の参加がありました。法定の「運転者講習会」を受講し、内部研修を経て1名は活動しています。
- 家族の介護・育児や他の仕事などとの掛け持ちのため、常時活動に参加できるメンバーが少ない状況が続いています。運転の担い手不足は引き続き深刻で、ワークの担当決めはぎりぎりのことが多くありました。しかしながら、依頼には極力応えるようシフトを調整するなど努めました。事務局の慢性的な人手不足も相変わらずで、会員の充足は引き続き大きな課題です。
- 会員は3月末現在43名です。日々の活動の参加者は23名（内、運転会員17名）、セダンの使用車両登録は13台でした。
- 今年度も事故はありませんでした。
- 新規入会・登録の利用者が特に多くありました。
- 昨年に比べ利用者実数で27名、利用者延べ人数は282人、利用回数は473回、総時間数は464.5時間と活動実績は増加しました。利用者延べ人数ではケア事業で258人、福祉車両利用助成事業では24人の増加でした。

2) 利用しやすい移動サービスを実現するため、大和市・神奈川県・国との協働や他団体・他機関との連携をすすめました。

大和市とは引き続き協働事業を実施し、利用者など市民の方々に貢献しました。

- 協働事業を開始してから 15 年目で、5 期目最後の年になりました。来年度からの 6 期目のため公開プレゼンテーションを行い、継続が決まりました。
- 協働事業協定書にもとづき、大和市からは引き続き、福祉車駐車場（4 台分）およびストレッチャー等の保管場所、負担金の提供を受けました。
- 毎年の「広報やまと」への掲載のほか、昨年度に続き「出張！ボランティア総合案内所」や今年度初めての協働事業紹介の展示などで情報提供をしていただきました。「広報やまと」の掲載を見ての加入もありました。
- 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業を引き続き行いました。必要に応じ、担当課との調整を行っています。
- 市が設置している「大和市地域公共交通会議」にケアびーくるからメンバーが参加しました。
- 介護保険に係る新しい総合事業の動き、高齢者の運転免許証返納を取り巻く動きなど、世の中の動きと移動サービスについて情報の取得に努めました。第 2 層協議体との意見交換に招かれ、情報の提供をしました。
- 市内で開かれた、かながわ福祉移動サービスネットワーク主催の認定運転者講習会に講師派遣と車両提供を行いました。
- 地域福祉の充実に関しては、以下の組織やネットワークに引き続き参加し、連携・交流を深めました。
 - ・コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会 大和
 - ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
 - ・NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
 - ・大和市民活動センター

3) ニーズに沿った質の高いサービスが提供できるよう介助研修や共育に努めました。

車両運行における利用会員の「安全と安心」を確保するため、安全運転と適切な運行管理に力を注ぎました。

様々なニーズにきめ細やかに対応できるよう、運行管理者、運転会員で情報共有を図っています。利用者の「安全と安心」の確保に努めました。

- 車を使っただけの活動はいつも神経を使います。メンバーひとり一人が緊張感を持って、かつ利用者の方々への共感を持って、活動を進めました。
- 適宜、メンバーが講習会や研修に参加し、日頃のワークに生かしました。（安全運転講習会、学習会等）
- N-BOX の操作に関して、随時、研修をしました。今まで福祉車の運転をしなかつ

ったメンバーでも運転が可能になっています。

- 新たな 2 名の運転会員のため、同乗研修をはじめ内部の研修を進めました。必要に応じ、ストレッチャーの扱い、福祉車両の車いす固定操作の再確認等の研修を個別対応で行いました。
- 冬季の安全確保のため、福祉車 2 台（てのひら号、ハイエース）にスタッドレスタイヤを装着し、雪の日対策を行いました。
- 毎月の定例会で、安全で安心のサービス実現に向けて情報交換を行い、きめ細やかなサービス提供に努めました。受講した安全運転研修の内容やヒヤリハットの共有も図りました。
- インフルエンザやその他の感染症対策として引き続き、各車両にアルコール消毒液を備え、サービス終了時の消毒を行いました。
- 運行管理は日ごろから連絡を密にとり、正確かつきめ細やかな対応ができるよう努めました。

4) 今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

日々の活動に追われながらも、今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

利用拡大に向けての取り組み

- 利用拡大とメンバー募集を視野に、「ケアびーくる通信」を 2 回発行しました (No7、No8)。特に No8 号は設立 20 周年記念号として紙面を増やし、現役メンバーはもとより OB にも執筆頂き、編集も外部に依頼して、利用案内の性格も持たせました。大和市、利用者、関係事業者などに広く配布しました。

担い手拡大に向けての取り組み

- 担い手拡大については、メンバーが常時、新しい仲間づくりに心がけ、1 名は口コミでの入会となりました。また、市役所掲示板や福祉車に、常時、メンバー募集のポスターを掲示し、問い合わせもあります。
時宜を捉え、リーフレットやチラシを配布しながらケアびーくるの活動をアピールし、利用拡大とメンバーのお誘いに努めました。新たな問い合わせや依頼がことのほか多い 1 年となりました。

福祉車両の更新に向けての取り組み

- 6 月に日本財団の福祉車両助成事業にホンダ N-BOX で応募し、12 月に助成金交付が決定し、3 月に納車、お披露目式を行いました。16 年目となったセレナを「大和リトルシニア野球協会」に無償譲渡しました。
他の福祉車両は、(新)キャラバンが 14 年目、ハイエースが 10 年目、てのひら号が 4 年目になります。

助成金などへの応募

- 助成金への応募は、県及び市の共同募金配分金に加え、かながわ土地建物保全協会ライフフリー事業助成金、W. Co 基金、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン等から助成をいただきました。また、個人からの大口寄付もあり、併せて事業外収入の伸びへとつながり、収支改善の要因の一つとなりました

中期計画・長期計画の随時見直し

- 中・長期計画は随時見直しました。
- 年間を通じて経費削減に努めました。

5) 毎日の定期メールで情報を共有し、こまめな情報交換と問題解決に努めました。

- 理事会と定例会を毎月開催しました。定例会はメンバー相互の情報交換の場とし、日々の問題点を共有するとともに、解決に向け話し合いました。
- 定例会の議事録をメールで活動会員全員に送信し情報の提供を行い、共有化を図っています。

6) 地域への情報提供をおこないました。

- 「ケアびーくる通信」は 2 回発行しました。ホームページの充実やブログならびに facebook の更新に努めました。(ブログ更新：15 回)
- 朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに広告を掲載して頂きました。(掲載：6 回)。記事を見ての新たな利用者の加入がありました。

7) 認定NPO法人格取得に向けて取り組みます。

- 認定 NPO 法人格取得に向けた取り組みはしませんでした。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 外出介助等のサービス事業

ア ケア事業

- ・内容 通院入退院、通所通学、買い物等の外出介助および付き添いサービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 23 人
- ・対象者 移動制約者 270 人 (のべ利用者 2894 人)
- ・支出額 9,958,044 円

イ 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業

- ・内容 大和市福祉車両所施事業対象者における外出介助及び付添サービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 23 人
- ・対象者 移動制約者 64 人 (のべ利用者 590 人)
- ・支出額 2,447,199 円

② 地域に向けて研修、啓発をはかる事業

- ・ 内容 ケアびーくる通信の発行（年2回）
ホームページの充実、ブログ更新（年15回）、facebookの更新
新聞折り込みチラシへの広告掲載（年6回）
- ・ 日時 随時
- ・ 場所 大和市内
- ・ 従事者人員 7人
- ・ 対象者 移動サービスを受けたことのない方および、そのご家族
- ・ 支出額 129,352円

③ その他、この会の目的を達成するために必要な事業